

各関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について
病虫害発生予察注意報第4号を送付します。

平成17年度病虫害発生予察注意報第4号

平成17年11月4日
高知県病虫害防除所

病虫害名 シルバーリーフコナジラミ

1. 対象作物：施設果菜類、施設花卉類
2. 発生地域：県内全域
3. 発生時期：9月中旬以降
4. 発生程度：多
5. 注意報発令の根拠
 - 1) 定植時から県東部及び中央部の促成ナス、ピーマンでの本虫の発生は平年を大きく上まわり、寄生株率も高かったことから、10月4日付け注意報第2号により注意を促したところである。引き続き県下の促成ナス、ピーマン・シシトウで発生が多い状況が続いており、加えて施設キュウリでも県中西部、西部で発生が多くなっている（別表）。また、促成ナスの一部ですす病の発生も見られている。
 - 2) 病虫害防除員や農業振興センターへの聞き取り調査などでも、施設果菜類、施設花卉類での発生が多いという報告がある。
 - 3) 促成ナス、ピーマン・シシトウでは天敵導入を行うハウスが増加しており、導入後は防除薬剤が制限されるため、現時点での防除が徹底されないと、年明け以降、密度がさらに上昇するおそれがある。
 - 4) ピーマン・シシトウでは本虫の寄生による果実の白化（退色化）症状が見られる場合があり、また、トマト黄化葉巻病、トルコギキョウ葉巻病を媒介するので、初期防除の徹底が必要である。
 - 5) 向こう一ヶ月の気象予報では気温は平年並か高く、日照時間は平年並か少ないと予想されており、急激な密度低下は期待できない。
6. 防除対策
 - 1) 薬剤抵抗性発達回避のため同一系統の剤の連用を避けながら、高密度にならないうちに防除する。なお、抵抗性発達の恐れのない気門封鎖などの物理的防除剤も積極的に利用する。
 - 2) 施設開口部への防虫ネット（1mm目以下）被覆や黄色粘着シートの利用、ほ場周辺の除草などを行い、成虫の侵入阻止による密度低下に努める。

別表 主な施設果菜類でのシルバーリーフコナジラミの発生状況

		促成ナス			促成ピーマン			抑制 促成キュウリ	
		10月	9月	10月平年値	10月	9月	10月平年値	10月	10月平年値
東 部	発生面積(ha)	271.6	252.1	63.9	18.0	15.0	3.9	-	-
	寄生株率(%)	53.1	44.9	3.0	13.2	18.6	0.8	-	-
中央部	発生面積(ha)	45.0	50.0	28.8	41.5	83.0	24.2	100.0	90.4
	寄生株率(%)	47.2	63.2	12.3	4.4	20.0	1.5	15.1	13.4
中西部	発生面積(ha)	-	-	-	19.3	-	6.0	29.3	10.6
	寄生株率(%)	-	-	-	15.3	-	1.5	21.8	2.3
西 部	発生面積(ha)	15.0	-	12.0	-	-	-	23.9	8.1
	寄生株率(%)	5.8	-	0.4	-	-	-	17.0	1.8

ナス面積：東部291ha、中央部50ha、西部20ha 西部の平年値は前年値

ピーマン面積：東部30ha、中央部83ha、中西部22ha

キュウリ面積：中央部120ha、中西部33ha、西部26ha 中央部は抑制、中西部 西部は促成